

吉見中学校学校教育目標

学び合い・認め合い・高め合う ○学ぶ ○磨く ○鍛える

2学期を終えて

新型コロナウイルス感染症対策を講じた中でも体育祭・合唱祭という大きな行事が開催できたことは、この上ない喜びでした。例年とは異なり、多くの制限がありましたが、全校生徒の持っている力（意欲・向上心・創造力・思いやり・団結力等）が試され、生徒たちは、前向きな態度で、学校教育目標を実践し、確かな成長を見せてくれました。「無事是名馬（ぶじこれめいば）」という言葉があるように、今年度については無事に2学期を終えられること以上の成果はないのではないかと感じています。これも生徒自身の頑張りのみならず、保護者の皆様のご理解・ご協力、地域の皆様の温かいご支援があったからこそと深く感謝申し上げます。

さて、12月26日（土）から11日間の冬季休業日が始まります。年末年始ということでは何かと慌ただしくなりますが、感染症予防策を徹底した上で、この時期にしかできない年越しの準備や新年行事を家族の一員として、体験してほしいと思います。また、今年を振り返るとともに、新年を新たな気持ちで生活するために目標を立ててほしいと思います。

保護者の皆様には、生徒たちが、それぞれの目標に向かって心新たにスタートが切れるよう褒める言葉や励ます言葉をかけていただきたいと思います。そして、生徒たちが、この時期ならではの〈家族団らん〉〈家での手伝い〉等を体験し、充実した日々を送り、1月6日（水）始業式の日、元気に笑顔で登校する姿を待っています。

凡事徹底

パナソニック（旧：松下電器産業）を一代で築き上げ、経営の神様とも呼ばれた松下幸之助さんは「凡事徹底」（ぼんじてっつい）という言葉をよく使っていました。私塾での講話の最後に、塾生に向かって「とにかく諸君には21世紀の世界、日本を担って立つために、明日から毎朝しっかりと努力してほしいことがある。」と話しかけられたそうです。直感的に塾生たちは、「外国語は2か国語ぐらいマスターできるように勉強しろよ。」ぐらい言われるだろうと思って身構えたそうです。ところが、松下幸之助さんが言われたのは「明日から毎朝早う起きて、しっかりと掃除をしてくれ。」と。話はそれだけでした。「当たり前のことを当たり前でやり続けなさい。」ということです。「当たり前のこと」とは、誰にでもできることであり、生きていく上で大切なことです。それを一所懸命がんばるところにその人間の価値が生まれます。出会った人には目を見て笑顔であいさつ、人に親切にしてもらったらお礼の言葉、名前を呼ばれたら「はい」の返事、人の嫌がることをしない、掃除をまじめにする、時間を守る。その他にも、早寝・早起き、思いやりのある言葉遣い等々。そこには誠実であること、努力家であること、物や事や人に対して真摯であり、まじめであることが求められます。さらに「簡単なことをやり続けること」は、勉強でも運動でもとても大切なことです。簡単なことができない人には決して難しいことはできません。そして、その簡単なことをやり続けることが心の強さを育てることにつながるのではないのでしょうか？元メジャーリーガーのイチローさんも日々のトレーニングは、基礎・基本の繰り返しだと言っています。

きっと皆さんも「当たり前」のことをやり続けることが、これからの人生につながっていくと思います。

では、現在の社会状況での「凡事徹底」は、何でしょうか？以前の生活を取り戻すために、感染症を拡大させないためにできること、つまり、マスク着用、手洗い、密を避ける、近い距離で大きな声で話をしない等ではないのでしょうか？

この年末年始、当たり前のことを当たり前実践し、自分の健康を守ってほしいと思います。自分の健康を守ることが、相手の健康を守ることににもなるはずです。

道徳教育研究発表会

令和元・2年度の2年間にわたり、埼玉県教育委員会から委嘱を受け、「特別の教科道徳」の授業を中心として道徳教育の研究を進めてきました。そして、11月27日（金）町内小学校の先生方を参会者として、聖徳大学名誉教授 吉本 恒幸 様をはじめ、県教育局関係指導主事、埼玉県道徳教育研究会役員等13名の方々を指導者としてお招きし、全学級で研究授業と研究協議を行いました。その後、文部科学省教科調査官 浅見 哲也 様に『こだわりの道徳』と題してご講演をいただきました。



各学級とも生徒の活発な意見交換が行われ、指導者から「生徒が自分自身の考えをもって、しっかりと意見を交換し合う様子、先生が笑顔で生徒とやり取りする様子、大変すばらしかったです。」「生徒の素直な反応や楽しく授業が進められている様子も素敵でした。」「素直な生徒さんが、育っていますね。」など多くのお褒めの言葉をいただきました。

今回の発表によって、研究は一区切りとなりますが、今後も1時間1時間の道徳科の授業を大切に、引き続き授業を中心として生徒の道徳心を育ててまいります。

ふれあい講演会

11月25日（水）道徳教育・人権教育の一環として「ふれあい講演会」を実施しました。本年度は、来年の東京パラリンピック出場を目指す、水泳パラアスリート 西田 杏 様をお迎えし、『パラスポーツと障がい』と題してご講演いただきました。西田さんは、生まれつき左上腕欠損、右足大腿骨欠損で、義足を使って生活をしています。講演の中で「障がい＝不幸？かわいそう？と思われがちですが、私にとっては普通のことであり、障がいは誰にでもある得意なことや苦手なことと同じことなのです。」「苦手なことや出来ないことを障がいのせいにはせず、運動もピアノにも何にでもチャレンジし、出来ないことは自分の髪を結ぶことだけです。」と力強く語ってくれました。生徒の感じ方は一人一人異なると思いますが、「今までの自分の生き方」「チャレンジすることや努力することの大切さ」「強い心」「障がい」等について考えたことと思います。小学生の頃に障がい者水泳に出会い、中学生になってからパラリンピックを目指すようになった西田さん。現在、日本記録6種目、アジア記録2種目、2020年世界ランキング6位という実績をもっています。来年のパラリンピック出場と活躍を応援しています。



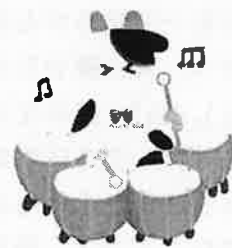
おめでとうございます！！

12月20日（日）久喜総合文化会館で開催されたアンサンブルコンテスト県大会に出場した打楽器四重奏（原口佳子、内田結菜、加藤愛桜、福田陽樹）が金賞に輝き、2月6日（土）高崎芸術劇場（群馬県）で開催される西関東アンサンブルコンテストへ出場することになりました。西関東大会での活躍を期待しています。また、税の作文でもその内容が評価され、11月27日（水）町長室において、町長さんなどから直接、表彰状を授与されました。

6名のみなさん、おめでとうございます！！

【税についての作文】

- 東松山地区納税貯蓄組合連合会長賞 3年 中島 葵
- 吉見町長賞 3年 小林 柚葉



お知らせ

年間行事予定表では、1月に予定していた2年生の修学旅行ですが、全国的な新型コロナウイルス新規感染者数の高止まりや Go To トラベルの一時停止等を勘案し、生徒の健康を最優先に考え、延期の措置をとらせていただき3月の実施となりました。修学旅行を楽しみに実行委員会を中心として、学級や係等で準備を進めてきた生徒の皆さんにはとっては残念なことではありますが、ご理解の程、お願いいたします。

【1月の主な行事予定】		20日（水）	実力テスト（1、2年生）
6日（水）	始業式	22日（金）	県内私立高校入試中心日、1年生英語検定試験
7日（木）	給食開始	25日（月）	学校公開（～29日）